

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



持続可能な開発目標(SDGs)とは

持続可能な開発目標(SDGs)、通称「グローバル・ゴールズ」は貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指す普遍的な行動を呼びかけています。

これらの17の目標は、ミレニアム開発目標(MDGs)の成功を土台としつつ、気候変動や経済的不平等、イノベーション、持続可能な消費、平和と正義などの新たな分野を優先課題として盛り込んでいます。ある目標を達成するためには、むしろ別の目標と広く関連づけられる問題にも取り組まねばならないことが多いという点で、目標はすべて相互接続的といえます。

SDGsは、パートナーシップと実用主義の精神に基づき、いま正しい選択をすることで、将来の世代の暮らしを持続可能な形で改善することを目指します。すべての国がそれぞれの優先課題や、全世界的な環境課題に応じて採用できる明確なガイドラインやターゲットも設けられています。SDGsは包摂的なアジェンダとして、貧困の根本的な原因に取り組むとともに、人間と地球の両方にとってプラスとなる変化の実現に向け、私たちを団結させるものとなっています。ヘレン・クラークUNDP総裁(※)は「2030年アジェンダの支援は、UNDPにとって最優先課題の一つです。SDGsは貧困、気候変動、紛争など、私たちの世界が抱える喫緊の課題のいくつかに取り組むための共通の計画とアジェンダを私たちに提供しています。UNDPには、前進の原動力として、各国が持続可能な開発に向けた道を歩むための支援ができる経験とノウハウがあります」と呼びかけています。

※UNDP(国連開発計画)とは

国連システムのグローバルな開発ネットワークとして、変革への啓発を行い、人々がより良い生活を築くべく各国が知識・経験や資金にアクセスできるように支援しています。

2016年1月から始まったSDGsは、今後15年間にわたり、UNDPの政策と資金援助の指針となります。国連の主導的開発機関として、UNDPは約170の国と地域での活動を通じSDGsの達成に貢献できる絶好の立場にあります。

複数の目標にまたがる活動の実績は、全世界で2030年までに、SDGsに定めるターゲットを達成できるようにするための貴重な経験し実証済みの政策ノウハウを私たちに提供しています。しかし、私たちだけで目標を達成できるわけではありません。SDGsを達成するためには、将来の世代により良い地球を残そうとする政府、民間、市民社会、そして市民によるパートナーシップが必要となります。